

令和2年11月5日

関係各位

公立昭和病院

院長 上西 紀夫

当院職員の新型コロナウイルス感染に関するお知らせと対応

当院に勤務する看護師1名が新型コロナウイルスに感染したことが判明しました。

この看護師は病棟で勤務しており、令和2年11月4日（水）に実施したPCR検査の結果「陽性」と判明しました。

この看護師は、11月3日（火）夜に自宅において、発熱症状はないものの嗅覚異常の症状が出現し、翌日4日には味覚異常が出現したため自宅療養とし、同日PCR検査を実施したところ「陽性」が判明しました。

この看護師は、勤務時にはマスクを着用しており、保健所とも協議し、食事介助等に対応した患者さんについては濃厚接触者としてPCR検査を実施したところ「陰性」が判明しましたが、専用の病棟に移動し14日間の健康観察を行っております。

また、発症日の2日前である11月1日（日）以降の接触者を調査し、濃厚接触者を除き看護師が対応した患者さん12名と同病棟でこの看護師と勤務にあたった職員13名の計25名について、念のためPCR検査を実施したところ全員「陰性」が判明しましたが、濃厚接触者以外の患者さんについても一定期間健康観察を行い、入院継続中又は退院後であっても再度PCR検査を行うなど感染対応を継続してまいります。

さらに、この看護師が勤務する病棟への新規入院は、原則として1週間は受け入れないことといたします。

なお、院内の他の病棟には、濃厚接触者がいないことから、当該病棟を除き当院は入院・外来ともに通常診療を継続いたします。

この看護師は、現在発熱もなく症状も軽いことから宿泊療養としております。

患者さん、ご家族の皆様や近隣医療機関の皆様には、ご心配やご不便をおかけいたしますが、今後とも安心安全な医療の提供に努めてまいりますので、ご理解の程お願い申し上げます。